

平成29年2月24日

各日本語教育機関 殿

一般財団法人日本語教育振興協会 東京地区評議員

東京地区教育集会実行委員会

第8回日本語学校東京地区教育集会の開催について

浅春の候、年度末が近づき卒業式等のご準備に多忙な学校も多いことと存じます。

さて、第8回目となる「東京地区教育集会」の開催が決まりましたのでご案内致します。今回は昨年同時期に実施した「専任教員のための研修会」を新たな内容で実施いたします。専任教員は日々の業務に追われ、他校の取り組みや様々な考え方に触れる機会が少ないのが実情ではないでしょうか。この研修会を通して、他校との交流の中から課題を捉え専任教員としてどのような意識で取り組むべきか、学び合うことができればと思います。昨年参加された専任教員の方々も、今回は全て新しい研修内容となっていますので、どうぞ奮ってご参加ください。

東京地区で開催いたしますが、全国から参加いただけます。参加希望者は、別紙申込書により主任推薦の形で3月17日(金)までにご提出くださいますようお願い致します。

記

1. 主催 一般財団法人日本語教育振興協会東京地区評議員

2. 企画・運営 平成28年度東京地区教育集会実行委員会

実行委員	東京三立学院	竹野 藍
	ヨシダ日本語学院	野村 智恵
	ミッドリーム日本語学校	山田 貴彦
	江戸カルチャーセンター	小林 諒子

3. 目的

専任教員の教職員としての意識向上を促し、よりよい教育現場を作っていく一員であることを再確認する。他校の教員と交流し、相互に学び合い、協力し合える継続的な関係を築くことを目的とする。

4. 日時

平成29年3月27日(月) 9:30～17:30

5. 実施会場

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟402室

住所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL 03-3467-7201 fax 03-3467-7797

6. 参加対象

留学生を受け入れている日本語教育機関の専任(常勤)教員

(日本語教員として勤務する者で主任職でない者)

※ 経験年数は問いません。主任教員は「参観者」として来場可能です。

※ 専任教員として経験の浅い方(1年未満)から、主任の代理も務められるレベルの方まで幅広い対象を考慮したプログラムになっています。(レベル別に分かれての討議など)

7. プログラム(予定) (別紙1参照)

9:00～ 受付開始

9:30～ 開会

趣旨説明

9:40～10:00 「この1年を振り返る」と「先輩に聞きたいこと」

10:00～11:45 【第一部】

講演

11:50～13:00 休憩

13:00～15:00 【第二部】

レベル別グループワーク

15:50～16:00 休憩および移動

16:00～17:00 【第三部】

パネルトーク 「先輩から専任教員へ」

17:00～17:30 【第四部】

「先輩への質問に答えます」

17:30～17:35 終わりのあいさつ

18:00～19:30 交流会

(※基本的には交流会までが研修となりますので、参加をご検討ください。

ご都合が悪い場合は、申し込み用紙該当欄でご選択ください。)

8. 参加費（当日受付で申し受けます。）

- ・（一財）日本語教育振興協会維持会員校（維持会費納入校）の教員
参加者一人につき 1,500 円
- ・その他の教育機関の教員
参加者一人につき 3,000 円

※同一校より3名以上参加の場合は下記の通りです。

- ・（一財）日本語教育振興協会維持会員校（維持会費納入校）の教員
参加者一人につき 1,000 円
- ・その他の教育機関の教員
参加者一人につき 2,000 円

※複数枚の領収書に分かれる場合があります。

※参観者としてご来場の主任は参加費無料です。

	研修のみ参加		研修と交流会に参加	
	1名	3名以上	1名	3名以上
日本語教育振興協会維持会員校の教員	1500円	1000円	4500円	4000円
その他の教育機関の教員	3000円	2000円	6000円	5000円

（参加費は1名につき）

9. 交流会について

研修会後に希望者で行う予定です。多くの教員たちと交流するよい機会として、たくさんの方々に参加していただきたいと思います。

会場 レストラン とき
 (国立オリンピック記念青少年総合センター内)
※参観主任の方は3,000円の会費がかかります。

10. 申込み・問い合わせ ※（一財）日本語教育振興協会が協力いたします。

参加者の推薦は、参加申し込み書に必要事項を入力の上、下記アドレスにEメール添付で3月17日（金）までに提出してください。（提出期限は厳守をお願いします）。参加者が4名以上の場合は、お手数ですが、コピーの上、入力してください。

申込書で参加者の専任経験レベル（参加者タイプ）を書いていただきますが、全体の人数バランスに著しい偏りがある場合、期限前に一部を締め切ることや人数調整をお願いすることがあります。

（一財）日本語教育振興協会ホームページ <http://www.nisshinkyo.org>

〔申し込み・問い合わせ先〕 総務部 小野寺陽子

TEL：03-5304-7815 FAX：03-5304-7813 E-mail: y-onodera@nisshinkyo.org

日本語教育機関 校長・主任教員・専任教師のみなさんへ

3月27日（月）に開催いたします「第8回 日本語学校 東京地区教育集会」は、昨年に引き続き「専任教員研修」を行います。自己の仕事ぶりの振り返りをはじめ、教育に関する事柄、教員としての自身の成長などを題材とし、意見交換をすることで、他校の取り組みや考え方に触れられる貴重な機会としたいと思います。

【第一部】 **講演** について

日々の仕事の中では、なかなか日本語教育業界の今後や教師としてどうあるべきか、学校教員としての自分の成長について考える時間がないことと思います。今回の講演では、日本語教育の社会的役割、教師としての仕事の価値、私たちの目指すべき将来までをも視野に入れた少しスケール感のあるテーマ、そして教師としてのスキルアップ、経験と共に求められる責任、ワークライフバランスなど、日本語教員のキャリアを考えるきっかけとなるテーマの2つの講演を通し、参加者それぞれが気づき、自分を見つめることができればと考えています。

【第二部】 **グループワーク** について

第二部は、申込時に主任教員に選択いただいたレベル別に分かれ、それぞれグループワークを行います。

Aレベル**セルフチェック「専任教員に求められるもの」**

第二部ではまず、セルフチェックシートを使って日々の自分の仕事を振り返ることから始めたいと思います。今の自分は何ができて、何ができていないのか、自分自身を見つめ直し、専任教員として、また、組織の一員としてどんなことが求められているのか、参加者それぞれが考える時間になればと考えています。

グループワーク テーマ①「専任教員と非常勤教員の違いを考えよう」

Aレベルの参加者の中には、日本語教師としての仕事と専任教員としての業務に追われ、「専任教員の仕事って何だろう」「専任教員としてどうあるべきなんだろう」などと、改めて考える余裕がないという人が多いのではないのでしょうか。そこで、テーマ①では、グループに分かれ、「専任教員と非常勤教員の違いを考えよう」というテーマで意見を交わしながら

ら、私たち専任教員が学校という組織の中でどのような役割を担い、どのような意識で業務に当たるべきか、考えたいと思います。

グループワーク テーマ②「自己研鑽する方法を考えよう」

セルフチェックによる振り返りとテーマ①の話し合いで、専任教員の在り方や持つべき意識について考えたところで、テーマ②では今後専任教員として成長していくことを考えた時の自分を成長させるためのキーワードを個人個人が挙げます。その後、キーワードをもとに、具体的にどのようなことができるのか、グループで意見を交換しながら考えてみたいと思います。専任教員としての経験が浅くても、「よりよい学校」を作るメンバーの一員であるということを意識し、常に向上心を持って成長していかなければなりません。そのために自分に何ができるのか、グループでのやり取りの中から共感や気づきが得られればと思います。

このグループワークのもう一つの目的として、限られた時間の中で建設的に話し合いを進めるトレーニングをしたいと考えています。そこで、各グループ内で下記の3つの役割を決めて話し合いを進めていきます。

- ・ タイムキーパー … ある程度話し合いが進んだ時点でそれまでの話し合いの内容を簡単にまとめ、テーマに合った話し合いができているかジャッジし、整理します。
- ・ 司会進行 … タイムキーパーからの内容の整理を受け、それまでの話をさらに深めるのか、話の方向を変えるのか、判断し、さらに話し合いを進めていきます。
- ・ 書記 … 話し合いの内容を簡潔にメモしていきます。

Bレベル

グループワーク「あなたが日本語学校を作るとしたら」

このグループワークでは、自分ならばどのような日本語学校を作っていきたいかという視点で意見交換を行います。

学校を運営する上で必要な要素には、経営方針や教育方針、人材育成、学生募集、地域との関係など様々なものがあります。それらの要素について、深く知ることは日本語教育を行っていく上で、非常に重要です。良い学校像を互いに語り合う中で、日本語学校を構成している要素を知る機会が持てたらと思っています。

また、その各々の要素が互いにどう関係し合っているのかも知り、日本語教育に必要な視野の広さを養おうというのがこのワークのねらいです。

Cレベル

グループワーク「リスクマネジメント（事例研究）」

学校では地震、感染症、校外授業での問題発生など様々な状況が生じます。Cレベルの教員は、主任に準ずる立場ですので、状況に応じて、自ら判断をし、指示を出していかなければなりません。起こりうる事例をもとに、グループでの意見交換を通し、Cレベルに求められる力を再確認していきたいと思います。

【第三部】 パネルトーク について

パネリスト ヨシダ日本語学院 校長 一条 初枝
ミツミネキャリアアカデミー日本語コース 校長 染谷 亜矢子
モデレーター 東京三立学院 副校長 及川 信之

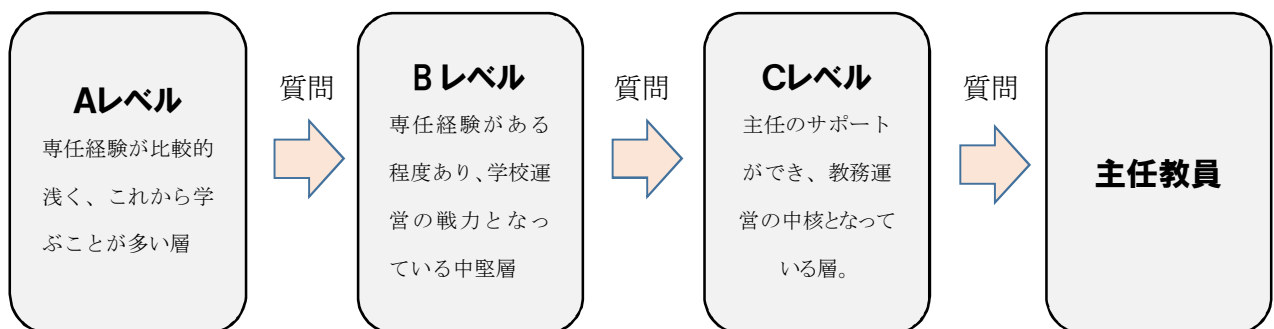
日々の仕事をきちんとこなせるだけでなく、先を見る目を養う必要性やそのために継続して努力すべきことなど少し長い時間枠の中で専任の「仕事」を語っていただきます。

このトークを聞いた参加者が、それぞれの現場で、夢や目標を持って活躍していけるようになればと考えています。

【第四部】

「今困っていること、先輩に聞いてみたいこと」

ここでは、研修冒頭、参加者より集めた質問に対し、上のレベルの先輩教員が答えていきます。「日ごろから疑問に思っていたこと」や、「こんな悩みがある」とか、「今さらこんなこと聞けない」といったようなことを参加者全体で共有します。自分自身の疑問解決だけではなく、他校での取り組みを知り、刺激を受け、そして色々な方からアドバイスが受けられる貴重な時間にしたいと思います。



※どなたが、どのグループに入るかは参加申し込みの段階で主任教員に選択していただきます。

時間の関係で内容の変更があるかも知れませんが、概ね以上のような内容を予定しています。
みなさんの参加をお待ちしています。

日本語学校東京地区教育集会「専任教員のための研修会」参加申込書

下の表内にご記入ください。

※（ ）内には選択の上、どちらかに○を入れてください。

※男・女、参加者タイプは○で囲むか、不要なものを消してください。

参加者タイプの目安

A	専任としての経験が浅く、基礎的な研修を受けさせたい者
B	専任としてさらなる成長を求めたい者
C	まとめ役、主任代理等の能力を求めたい者

() 日振協維持会員校 → 当初認定番号を御記入下さい ()			
() その他の教育機関			
学校名			
(フリガナ) 教務主任名	() (男 ・ 女)	当日参観 () する () しない	交流会参加 () する () しない
(フリガナ) 参加者名①	() (男 ・ 女)	参加者タイプ A B C	交流会参加 () する () しない
(フリガナ) 参加者名②	() (男 ・ 女)	参加者タイプ A B C	交流会参加 () する () しない
(フリガナ) 参加者名③	() (男 ・ 女)	参加者タイプ A B C	交流会参加 () する () しない
連絡先 メール			
電話番号			

*メール添付でお申し込みください。